

佐倉城址公園内連隊遺構マップ

佐倉陸軍病院跡の碑



テラスを付けた洋風の建物でした。

兵営の便所跡



建物にあった便所の土台が残っています。

軍犬・軍馬の墓



軍用として、犬や馬のほか、鳩も飼われていました。

訓練用の12階段



兵士が高いところから飛び下りる訓練をしたコンクリート製の階段です。

弾薬庫の跡



鉄砲の弾などをしまった建物の土台や、まわりの土手が残っています。

脂油庫



小銃・機関銃等の手入れ用の油を保管していた倉庫です。

車道の碑



大手門から軍の建物まで、いろいろな物を運ぶために新しい道を作った記録です。

佐倉兵営跡の碑



この地に佐倉連隊があったことを記した碑です。

兵士が文字を彫り込んだモッコクの木



兵士が彫った「昭和十八年十月」「砲隊」の文字が、木の幹に残っています。

伝えていきたい 佐倉市の戦争と平和

佐倉市は、戦後50年の節目となる平成7年に「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を制定し、この条例に基づき、次代に平和への思いを育んでいくために、主に子ども達への平和啓発事業を実施してまいりました。一方、戦後75年以上が経過し、戦争を知る世代の皆様から直接そのお話を聞くことが難しくなっています。

地域における戦争の記憶を次代に引き継ぐために、市内に残る戦争遺構を紹介したリーフレットを作成いたしました。

かつて佐倉の連隊がおかれていた佐倉城址公園

編集・発行 佐倉市広報課
令和2年11月
問い合わせ 043-484-6103



「佐倉連隊～戦争遺構をめぐる～」
さくら動画配信
(You Tube 佐倉市公式チャンネル)

佐倉と連隊

現在、国立歴史民俗博物館があるところは、戦前には陸軍の連隊が置かれていました。連隊は、千葉県下の若者を中心とした郷土部隊として、当時の住民の生活に密接に関係していました。

当時の佐倉は、連隊のある軍都としてにぎわいをみせており、現在の新町通りから連隊の表門となっていた田町の歴博入口にかけた成田街道筋には、飲食店や日用雑貨を扱う商店をはじめ、写真店、時計店、軍服の仕立て屋など、連隊向けの商店が軒を連ねていました。

兵士たちが入隊する時には、多くの家族が佐倉に宿泊し、地元の人たちと一緒に見送りをし、兵士たちが除隊の際には、入隊時の盛大な見送りに対する返礼として、盃や盆などを配ることが慣例となっており、兵士たちはこうした記念品を地元の商店で購入し、地元経済に大きく貢献していました。

この佐倉の地から、千葉県下の多くの若者が、中国やグアム、レイテなど異郷の地に送られ、生きて再び日本の土を踏むことが叶いませんでした。連隊のなかには、広島で演習参加中に原爆投下により遭遇し、救援活動のために広島市内に入り、被爆されたかたもいらっしゃいました。

今も佐倉城址公園内には、連隊の遺構が残されています。



佐倉の連隊
(佐倉市教育委員会蔵 / 村松写真館資料)

佐倉市平和行政の基本に関する条例

平成七年六月三十日
条例第二十二号

- (目的)
第一条 この条例は、佐倉市の平和行政の基本原則を定め、もって市民の平和で安全な生活の維持向上に資することを目的とする。
(基本原則)
第二条 佐倉市は、日本国憲法の基本理念である恒久平和の実現に努めるとともに、市民が平和で安全な環境のもとに、人間としての基本的な権利と豊かな生活を維持できるよう、平和都市を宣言(別記)し、この精神に基づき平和行政を推進する。
(平和事業)
第三条 佐倉市は、平和行政を推進するために次の事業を実施する。
一 日本国憲法に規定する平和の意義の普及
二 平和に関する情報・資料の収集、保存及び提供
三 国内及び外国の諸都市との平和に関する交流
四 講演会、演奏会、展示等平和に関する事業
五 その他この条例の趣旨に基づき市長が必要と認める事業(委任)
第四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。
附 則
この条例は、平成七年八月十五日から施行する。

別記

平和都市宣言
～非核三原則を守り核兵器廃絶をめざして～

豊かな自然に恵まれた歴史と文化のまち佐倉。この良好な環境のなかで、やすらぎに満ち、健康で平和な生活を維持することが佐倉市民共通の願いです。
佐倉市民は、悲惨な紛争や戦争のない世界を強く願い、軍縮の推進はもとより、特に、人類および地球の破滅につながる核について非核三原則を守り、核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、最大の努力をしなければなりません。

戦後50年目の年にあたり、佐倉市民は、戦争の犠牲者に追悼の誠を捧げ、国際社会の一員として、国際協調の視点をふまえ、世界の恒久平和を実現するために「平和都市」を宣言します。

佐倉市

青い目のお人形「ナンシー メリー」
(佐倉幼稚園)

佐倉市マップ①

※一般公開はしていません。



青い目のお人形「ナンシーメリー」

「青い目のお人形」は、平和の親善大使として、1927 年（昭和 2）アメリカのギューリック氏から日本の小学校や幼稚園に贈られました。その数はおよそ 12,000 体もありました。ギューリック氏は、世界の子どもたちが仲良くなれば、きっと平和になると考えていました。

しかし、太平洋戦争が始まると、「青い目のお人形」は敵国の人形として、各地でこわされたり、焼かれたり、また空襲によって焼失してしまいました。千葉県には、217 体の人形が贈られましたが、現在は佐倉幼稚園の「ナンシーメリー」のほか数体しか残っていません。

佐倉平和の鐘（海隣寺町）

佐倉市マップ②



市役所 1 号館
2 階にある
佐倉平和の鐘

佐倉平和の鐘は、梵鐘制作者として人間国宝に選ばれた香取正彦氏（1899 ～ 1988）が造ったものです。

香取正彦氏は少年時代を佐倉市で過ごしていたこともあり、生前から佐倉市に寄贈を申し出られ、平成元年にご遺族から贈られました。

この鐘は、広島平和記念資料館にある「平和の鐘」と同型のものです。鐘の正面には、故吉田茂元首相の筆による「平和」の文字と瑞鳥が刻まれ、裏面には「佐倉市の為に」と刻まれています。

この鐘は、市役所 1 号館 2 階に展示されており、毎年 8 月 15 日に開催する「佐倉市平和式典」の時には、恒久平和の実現への祈りを込めて鳴らされます。

青銅製・高さ 76cm・口径 45cm・重量 147kg

一万有余の御霊が祀られている
忠霊塔（海隣寺町）

佐倉市マップ②



市役所 2 号館正面に位置する忠霊塔

過去の戦争による戦没者の遺骨・遺品が安置され、一万有余の御霊が祀られています。

1874 年（明治 7）、佐倉城跡に歩兵第二連隊が移り、海隣寺の一部に陸軍墓地が設けられました。1943 年（昭和 18）には納骨堂を建て、墓地に埋葬されていた遺骨や遺品を納骨堂に移しました。戦後、一部の遺骨などは引き取られ、印旛郡市町および八千代市出身者の遺骨などが安置されることになりました。

市役所庁舎の移転に伴い忠霊塔を建設し、1970 年（昭和 45）に遺骨などを納骨堂から忠霊塔に移し現在にいたっています。毎年 8 月 15 日と佐倉市戦没者追悼式当日には忠霊塔を開門しており、自由に参拝することができます。

ロケット弾で 14 人が亡くなった
殉難の碑（六崎）

佐倉市マップ③



佐倉警察署から根郷方面へ向かう県道の陸橋下、JR 線路の北側に建立されている殉難の碑

1945 年（昭和 20）7 月 18 日、米軍艦載機約 500 機が関東一帯を攻撃、佐倉では鉄道輸送の要となる機関区（現 JR 佐倉駅周辺）が標的となりました。この時、鉄道職員が退避した防空壕にロケット弾が命中、14 人の死者を出したほか、重軽傷者が出る被害がありました。この碑は 1977 年（昭和 52）に、非業の死を悼む国鉄職員有志により防空壕跡に建てられました。



焼夷弾で民家や分教場が焼失
太田分教場跡（太田）

佐倉市マップ④

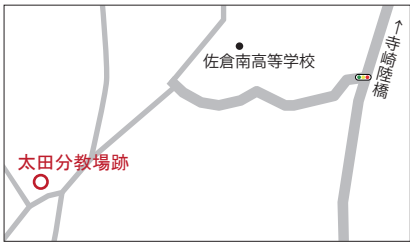


県立佐倉南高から南西約 200m 付近にある太田分教場跡

東京大空襲があった 1945 年（昭和 20）3 月 10 日夜、旧根郷村太田に焼夷弾が投下されました。

この時、根郷国民学校太田分教場は周囲の民家とともに全焼しましたが、石の門柱は焼け残りました。戦後再建された分校は、やがて廃止されました。

現在では、太田青年館の入口に立つ門柱だけが戦禍の証となっています。



平和之塔（和田）

佐倉市マップ⑤



平和之塔

和田小学校近くの場所に建てられた平和記念碑「平和之塔」は、和田地区有志のかたで結成された平和記念碑建設委員会から平成 18 年 2 月に市へ寄贈されたものです。高さ 1m80cm の石柱の上には直径 60cm の地球儀をのせています。塔の正面には「平和之塔」、右側面には、世界中が平和で人々が穏やかに暮らせるように祈りを込めて、「四海太平万民和楽」と刻まれています。この石碑は地域住民が戦後 60 周年を記念し、悲惨な戦争が再び起こらないことを願って制作されました。



佐倉市内
戦争遺構マップ

佐倉市内に残る戦争遺構をご紹介します。



戦没者追悼式



令和元年 11 月 30 日 市民音楽ホールにて



戦争で亡くなられたかたがたのご冥福をお祈りするとともに、恒久平和を祈念するため、毎年、佐倉市戦没者追悼式を挙行しています。

佐倉市平和式典



令和元年 8 月 15 日 市役所 1 号館 2 階ロビーにて



毎年 8 月 15 日に戦没者の追悼及び恒久平和を祈念し、式典を行います。式典では正午の時報を合図に黙祷し、「平和への誓い」や、佐倉平和使節団による平和学習の報告が行われます。式典終了後は市民のかたが「佐倉平和の鐘」を鳴らすことができます。